



八中だより



第19号
令和7年1月20日
府中市立
府中第八中学校

『私を大きく変えた伊豆大島での生活』

校長 高汐 康浩

一月十二日、十三日に伊豆大島を訪問した。その目的は、以前、大島町の中学校で勤務していた頃の教え子の一人が亡くなったための弔問（※ちようもん）だった。その訪問のための旅行を知った教え子たちが、久しぶりの同窓会を企画してくれた。悲しい訪問になるところだったが、教え子たちの手厚すぎる大変温かいもてなしと減多（めった）に体験できない数々の楽しい企画に感激の連続であった。（※亡くなった方の家族にお悔（く）やみの言葉を述べるための訪問のこと）

「一草亦師也」この言葉は、私が教員をスタートさせたときの勤務していた学校の校長先生からいただいた言葉だ。「いっそもまたしなり」と読む。その校長先生は伊豆大島に赴任する私に、その言葉を色紙に大きく書き、額に入れてプレゼントしてくれた。いただいたときに、その言葉の意味がわからず、その校長先生に尋ねた。校長先生は、『草のように小さくて、ものを言わないものでも根をはって力強く生きていく。どんなものでもあなたの師（先生）になっている』という意味であることを教えてくれた。

私はそれまでの六年間の教員の経験から、自信満々で大島の中学校での勤務を始めた。ところが、新年度の始業式の日から大きな壁にぶつかってしまったのだ。すべてがうまくいかない。やることなすことすべてが裏目に出たのだ。こんな経験は初めてだった。今、そのときのことを振り返れば、そのようになつて当然だと思えるが、当時の自信過剰の私には見通せなかっただろう。だからそうだったのだ。目の前の生徒の言うこと、やることすべてについて、前任校の生徒と比較してしまい、自分の基準で問題だと思ったりしてしまっていた。そんな私に生徒たちは次第に反感をもち、よい関係を作りづらくしてしまったのだ。

しばらく経って思い出したことが、「一草亦師也」だった。独善的（どくぜんてき）な私に対するびつたり戒めの言葉だった。遅ればせながら、私のひ



（在籍生徒数）一学年215名、二学年247名、三学年261名
 全校生徒数723名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒183-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二（三六四）一八八一
 ★地域の子ども食堂「にっころ食堂」と連携した取組を考えています！アイデアをお寄せください。

とりよがり招いた結果に落ち込み、情けなくなつた。その後、受け持った生徒たちとの関係回復と関係づくりには相当の時間とエネルギーを要した。まずは、それまでの自信を全部リセットして、すべてのことを「師」と考えた。生徒の言葉にきちんと耳を傾け、しっかりと受けとめ、生徒に寄り添うことを大事にした。ときには厳しい言葉がけが必要な場面があったが、生徒に寄り添うという気持ちを忘れずにさまざまな対応を行った。そして、いくらか勉強をしてたくさんの力を身に付けたとしても「活（い）かすことができな力」でなければならぬということを経験から身に染（し）みて感じたのであった。

この度（たび）の大島の訪問では、その教え子たちの手厚すぎる温かいもてなしを受けた。教え子たちは私の興味や関心をしっかりと覚えていて、私が行きたいところ、見たいところすべての場所に自動車案内をしてくれたのだ。このような結果をもたらしてくれたのは、その教え子たちのおかげであると思つている。当時、教え子たちが私の教師になってくれたのである。同窓会では、生徒と教師でなく仲間として夜遅くまで語り明かした。教え子たちは「うちらみたいな問題児がたくさんいたクラスを受け持つて、高汐先生は本当に苦労したずら？（大島弁）」と言つていた。私は「お前らと出遭わなかつたら、挫折して教師を続けていられなかつたかも知ない」と返した。

島を離れるときに、たくさんの教え子や当時お世話になつた先輩の先生が見送りに来てくれた。両手で抱えきれないほどの島の土産（みやげ）を持たされ、船に乗った。いつまでも棧橋で見送つてくれていた教え子たちに手を振りながら、感動であふれる涙をぬぐいながら島を後にした。



お知らせ



TOPICS



『四谷「ミ協」でどんど焼きのつどい』(一月十一日)

参加した中学生の皆さんは準備の段階から参加し設営などに協力しました。昔から、どんど焼きの火にあたると病気をしない、どんど焼きで焼いた団子を食べると災いや厄(やく)を免れる、竹が燃える大きな音で鬼が逃げ、どんど焼きの火に当たると若返ることができるなどの言い伝えがあります。天気に恵まれ、皆でどんど焼きを楽しむことができました。

『青少年対主催の凧作り、凧あげ実施』(一月十三日)

本校で地域の小学生の皆さんを招いて凧作りと凧あげを行いました。二学期には中学生の皆さんが凧作りを小学生の皆さんに教えるために、凧の作り方を地域の方から学びました。一月十三日には、参加した小学生の皆さんにやさしく丁寧に凧の作り方を教えました。その後、皆で楽しく凧あげを行いました。



思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまつて困っているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、**安心**してください。リーフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」「相談するとうるさくなるの??」「保護者向け相談窓口一覧」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介いたしますので、活用してください。下のQRコードまたはURLからアクセスできます。



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

活躍する八中生

【敬称略】

★バスケットボール部(女子) ★

令和六年度 第二十六回

神原杯バスケットボール大会

優勝

★卓球部★

第十回 府中市招待関東中学生卓球大会

女子団体 第三位

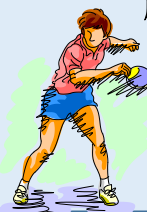
利根川 花奈 藤本 ゆずな 畔上 夏実

細井 優莉 大町 夏花 松浦 優那

★女子バレーボール部★

第三十二回

ツインスターカップ争奪中学生フレンドリーグ 四位



『令和七年度からの新しい教育目標』

すでにお知らせしている通り、来年度から府中第八中学校の教育目標が新しくなります。昨年度から、生徒会、教職員、PTA、同窓会、スクール・コミュニティ協議会で話し合いを重ねてきました。話し合いの過程では、「共生社会の実現」と「一人一人が人間同士のかかわりの中で社会の目標や個人の目標の達成のため

に取り組むこと」の重要性に着目しました。

三学期は校内に掲示する教育目標の準備を進めていきます。学校安全の観点から、これまでの額を用いず、直接壁等に掲示することにしました。

そして、来年度から学級の標記は番号標記(1組、2組...)に変更します。

